

二、解決条件ハ金社ニ於テ多少交渉ニタルカ解雇者三十二名ヲ出セリ  
又争議団ハ三日解雇及入所式ヲ舉行セリ

標記紛議甚ノ後、状況左記ノ通りニシテ田嶋解決ヲ告ケタリ

一、調停（解決）状況

當社調停係ニマリテハ其後引續キ労賃双方ノ態度ヲ注視シ漸  
次妥懐ノ雰囲気醸成ニ努ムル所アリタルカ争議団首腦部ニ  
リテモ既報ノ通り諸種ノ状況ヲ考慮シ可及的解決ヲ急シ調停  
係ノ斡旋ヲ希望シ出ツル所アリタルニヨリ十月三十日午後四  
時ヨリ當座ニ

會社側

配外一名

労働者側

配外四名

ヲ招致シ精力之ヲ調停ニ努ムル結果預後ナル金社側ニマリ  
テ又多少譲歩傾向スル処マリ遂ニ全十一時ニ至リ別紙書  
カ作成争議団代表ハ一應之レヲ承認調停辭去セリ

二、争議解決及解雇式状況

争議団首腦部ニマリテハ十月三十一日午後三時ヨリ本部ニ於  
テ全従業員ヲ集メ争議至極ニ至ル後前記調停条件ニ解決スベキ  
又否ヤヲ諮リタル処争議団代表ハ強硬分子ハ幹部ノ斡旋ヲ拒ミ  
果テハ幹部ハ置収セラレタリ等ト攻撃スル又ノスラ出テ議論  
沸騰遂ニ解決ニ依リ決セシトシタルカ

出席者八十三名中

争議続行 三十一名

争議打切 二十七名

無効投票 十名

中 立 十五名

ノ結果ヲ見タルカ幹部等ニマリテハ内部結束其他ノ情勢ヲ考  
慮シ争議続行ノ不利ナルヲ懸念受ニ陣營ヲ整ヘ来ルヘキ斗争  
ノ準備ヲ主張午後四時ハ介途ニ争議打切リニ決定右書ヲ兼